



お医者さんごっこ

大丈夫ですか～？

8月19日(火)
ちゅういっば組

様々な玩具で見立て遊びを楽しんでいる子どもたち。保育者とだけでなく、友だちとやり取りをする姿も多くなってきました。

〇ちゃんがお家で「お医者さんごっこを楽しんでいる」と聞き、「先生ちょっとお熱あるかも…」と保育者が患者になっていました。〇ちゃんは、保育者のおでこを触り「あつ～！せんせいあついね～」と言い、色々なものを探しにバタバタ。保育者がカラー積み木のベットに寝転がると、体温計に見立てたブロックで熱を測ったり、ままごとのふきんをおでこに乗せたりして、看病してくれました。

一緒に
車走らせよう

せんせい
あついねー

だいじょうぶ？

そこで…

お医者さんセット
を用意してみました！



おねつ
はかりまーす

びびびび



だいじょうぶ？

べったん



お熱あるから
冷えピタを…

ちゅうしゃ
ちゅーん



お薬のんだら
治るよ！

ぼく頭が痛いの…



おくすりの
のみまーす
あーんしてね

初めは保育者が患者になり、子どもたちがお医者さんになって、熱を測ったり、注射をしたり、絆創膏を貼ったり…とても忙しそう！徐々に、子どもたちも患者になり、友だち同士で「だいじょうぶですか～」「おねつある！薬飲むよ！」と盛り上がっていましたよ。

これからも、様々な見立て遊びを楽しむ中で、友だちや保育者とイメージを共有して楽しさが味わえるように、保育者も遊びの中にどんどん入っていきたいと思います。

